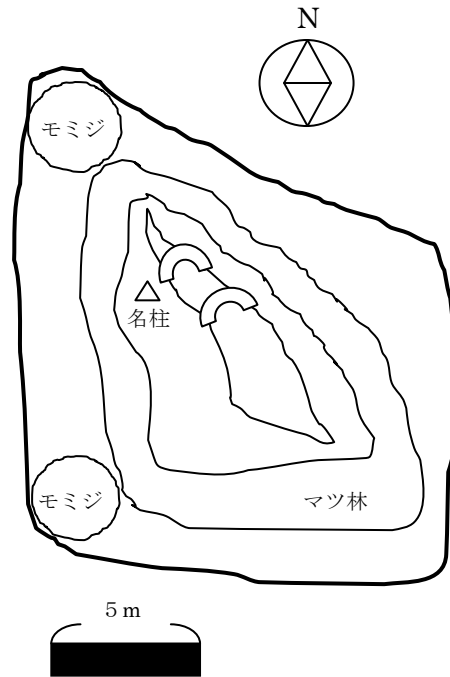


# 滋賀県の森

滋賀県の森は、琵琶湖を中心とした県全体の縮景をマツ林が囲む構成です。県の木モミジがアクセントになっています。



## 琵琶湖（日本最大の湖）

周囲の山々から 460 本の河川が流入し、流出は、瀬田川と人口排水の 2 本のみ。その水は京阪神 1400 万人の暮らしを支えています。約 1100 種類の動植物が生息し、61 種もの固有種が存在します。毎年 5 万羽の水鳥が訪れる、重要な飛来地でもあります。

## 県の木 モミジ（カエデ科）

昭和 41 年の県民投票で選ばれました。永源寺をはじめ、県内には多くの名所があります。

## マツ林・マツ（マツ科）

防風林として、また魚類の浜辺への寄りつきを良くするため、琵琶湖周辺には明治以降、多くの松が植林・保護されてきました。湖西の松林は「日本の白砂青松百選」に選ばれています。

